



市立小樽図書館 〒047-0024 小樽市花園 5-1-1
TEL (0134) 22-7726/FAX (0134) 34-0733

<https://www.otaru-lib.jp/>

最新情報はこちらをチェック↓



ホームページ



Facebook



Instagram



YouTube

休館日■黒い枠

11月 図書館カレンダー 10月15日現在						
日 Sun	月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat
					1	2
3 祝日開館	4 祝日開館	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23 祝日開館
24	25	26	27	28	29	30

イベントについて

図書館では行事を開催する際、定員のある行事は申込制となっております。参加希望の方はお申込みください。

行事の詳細については、5、6ページをご覧ください。

開館時間

火～金は午前9時半～午後7時まで
土・日・祝日は午前9時半～午後5時まで



休館日

11月 曜日 11日・18日・25日
館内整理休館日 29日(金)
※祝日(11/3文化の日、4振替休日、23勤労感謝の日)は開館いたします

12月 曜日 2日・9日・16日・23日
館内整理休館日 27日(金)
年末休館日 29～31日(年始1/3まで休館)

12月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

予約ベスト5

() の人数はR6. 10. 11現在の予約人数です。

- ◎ともぐい (河崎 秋子) (62人)
- ◎クスノキの女神 (東野 圭吾) (57人)
- ◎成瀬は天下を取りにいく (宮島 未奈) (52人)
- ◎ブラック・ショーマンと覚醒する女たち
(東野 圭吾) (34人)
- ◎風に立つ (柚月 裕子) (31人)

今月のおすすめ本

291.0

「マニア流！まちを楽しむ「別視点」入門」

別視点 編

書名の前の数字は分類番号です。



いつも、どこかの路上に落ちている片方だけの手袋（軍手を含む）、駅などで、その会社の公式の案内板とは別に、職員が自らの手で制作・追加添付しているPOPなど…。普段何気なく目にする光景も、マニアにとっては、「何があってここに落ちたのか」「なぜこんなに強調するのか」という発生のメカニズムや人間模様を考察する場所となる。

そんな独自の視点でまちを捉える人たちを名鑑形式で紹介、まちを常に新しく面白くする、目からウロコな一冊。

(K・H)



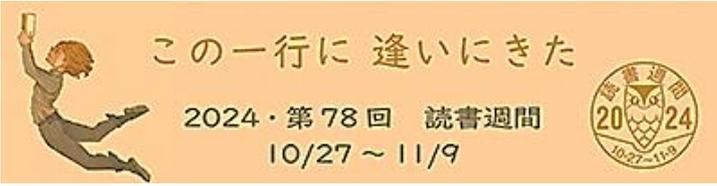
ハート職人、今夜も夜なべ？

「認証可か・・・」の巻

近頃、医療機関の受付で「マイナンバーカードをお持ちですか？」と問われることが増加した。申請したのはかなり前。ポイントを獲得するために保険証としての登録も済ませ、それで得たポイントはすぐさま使ってしまったあの頃。それなのに実際には利用することがなかった。第一の理由はどう使い始めるのか、わからなかったからだ。これはきっといいきっかけだろうと思い、受付の方に教えてもらいながらチャレンジした。そしてやっぱり最初からつまづいた。読み取りの機械にカードをどう置くかで迷った。受付の方は手間取っていることに気が付き「写真面を上にしてくださいね。」と優しくご指導。次に暗証番号でつまづく。少ない桁数なのに。「お顔でどうぞ。」と言われる。しかもマスクのままでも大丈夫だと言う。(今日のこのお顔で大丈夫かな?)と思いつつチャレンジ。確かに認証された。いくつかの質問に同意しながらやっとクリア。以前から先輩たちのやり方を目にしていたが、サクサクと操作しているように見えた。こんなに質問があるとは思っていなかった。そして次の病院でも利用しようとしたが、違う機種だった。そのため、マスクのままでは認証されず。暗証番号はもちろん、覚えていない。恐る恐るマスクを下げたら認証された。作成されたカードを受け取った時、印刷されている写真は自分だとは思えなかった。自分でも自分とは認証しがたい写真だったのに、機械ではこういう風に見えるということだ。しかし我が家の鏡では違って見えるのだ。もしかすると我が家の鏡は魔法の鏡なのだろうか。もしくは眼科受診？

小説類

この一行に 逢いにきた
2024・第78回 読書週間
10/27～11/9



「よむよむかたる」 朝倉 かすみ 著
小樽の古民家カフェに老人たちが集まる。月に一度の読書会のためだ。平均年齢85歳の超高齢読書サークルは発足20年を迎え、記念誌を作ろうとするが、すんなりと事が進むはずもなく…。



「森にあかりが灯るとき」 藤岡 陽子 著
お笑い芸人の夢に挫折し、特別養護老人ホーム「森あかり」で介護士として働くことになった星矢。ある日、施設で厄介者扱いされている医師・葉山彩子を街で見かけて、意外な場所に連れていかれるが…。

「イツ・ダ・ボム」 井上 先斗 著
「日本のバンクシー」と耳目を集めるブラックロータス。この人物の正体、そして真の思惑とは。うだつの上がらぬウェブライターは衝撃の事実に向きつき…。今作で第31回松本清張賞を受賞しデビュー。

「またうど」 村木 嵐 著
「この者は、〈またうど〉の者なり」徳川家重の言葉を生涯大切に続けた老中・田沼意次。彼は本当に、賄賂にまみれた悪徳政治家だったのか？失脚してもなお失わない誇りと引き際の美しさが胸に染みる。

「ロブスター」 篠田 節子 著
崖っぷちのフリージャーナリスト・寿美佳は、強制労働の噂を聞き、「デッドエンド」と呼ばれる砂漠鉱山に命からがら潜入した。ある人物の救出と取材が目的だったが…。

随筆



「浅草寺子屋よろず暦」 砂原 浩太郎 著
大滝信吾は、さる身の上を秘して浅草寺の一角で寺子屋を開いている。浅草の四季を舞台に、家族や友人、下町の人情に支えられながら、果たして信吾は天命を見つけられるのか。

「アジフライの正しい食べ方」 浅田 次郎 著
誰もが好きなあの一皿はどう食べるべきなのかを真剣に考察したり、怪しい害虫駆除業者がやってきたり…。食と旅と笑いのエピソード全40篇を収録するエッセイ集。

「産婆のタネ」 中島 要 著
かどわかしに遭い見知らぬ男と血を恐れ外に出られなくなったお亀久は、産婆の神様と呼ばれるおタネ様のもとへ母に連れて行かれる。産婆は女相手の仕事だから男の出る幕はないと聞いたお亀久は…。

「お砂糖ひとさじで」 松田 青子 著
お気に入りのアイテムやちょっとした発見、ずっと変わらず好きなこと。メアリー・ポピンズの「お砂糖ひとさじで」の歌のように、気持ちを軽くしてくれる魔法の呪文のようなエッセイ。

その他

書名の前の数字は分類番号です。

「僕たちの保存」 長嶋 有 著
震災被害者の形見のMSXパソコンが過去と現在をつなぎ、思いもよらぬ光が未来を照らし…。スマホがなかったあのころを訪ねる。



933.7 「ウォッチメイカーの罠」

ジェフリー・ディーヴァー 著
時計職人のごとく緻密な計画をひっさげ、宿敵が帰ってきた。名探偵ライムを殺すために。二重底三重底の犯罪計画を立案する天才ウォッチメイカー vs その裏の裏を読むリンカーン・ライム。二人の最後の頭脳戦が始まる！

「室蘭地球岬のフィナーレ」

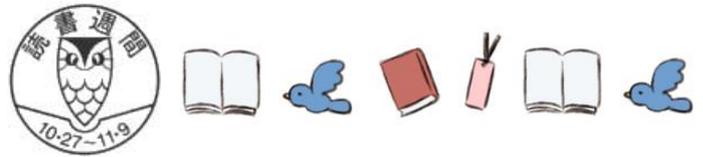
平石 貴樹 著
函館近郊で起きた放火事件。奇跡的に生還した息子は記憶を失っていた。彼の恋人は室蘭地球岬で死体となって見つかる。舟見警部補は、かつて名推理を披露した青年を思い出す。



949.6 「三部作」

ヨン・フォッセ 著
雨の中、海沿いの街をさまよう若き恋人たち。その手の小さな灯りは、希望となるか？居場所をさがしもとめる恋人たちの人生を描いた連作短篇集。

新着一般書



書名の前の数字は分類番号です。

159 「人生は気分が10割」

キム・ダスル 著
気分がよければ、「最高の一日」がずっと続く。気分がコントロールできれば人生もコントロールできる。そのヒントとなる習慣や考え方を、ソリッドな視点から紹介する。

210. 4 「室町ワンダーランド」

清水 克行 著
都の路上でバクチに乱闘。殺人事件が起きても、お上はスルー。ホームパーティーの費用はワリカン…。室町～戦国時代の専門家が、500年前の日本と現代社会の違いと共通点をやさしく解説。『週刊文春』連載を書籍化。

290. 9 「ひとり旅で見つけた小さな幸せ」

有川 真由美 著
自由に気ままに、自分の気持ち次第で動けるのが「ひとり旅」の醍醐味。ひとりならまわりを気にせず、「初めて」のことにもたくさん挑戦できる。エッセイストによるオトナひとり女子旅のススメ。旅のお役立ち情報も収録。



338. 1 「わが投資術」 清原 達郎 著

株式投資に才能など存在しない。「自分の失敗からどれだけ学んだか」だけだ。個人資産800億円超。長者番付1位となった伝説のサラリーマン投資家が全人生で得た株式投資のノウハウを明かす。



498. 5 「心身の不調が楽になる鉄分ちょい足しごはん」

毛利 有香 著
貧血、頭痛、腹痛、肌荒れ、鬱、イライラ…その症状、鉄不足かも！普段の食事に少しプラスするだけで心身の不調を改善できる「鉄分ちょい足し」アイデアを紹介。外食で選ぶと効果的なメニューも掲載。

596. 3 「たまさんと魚料理」 中川 たま 著



少ない材料でできるシンプルな魚料理レシピ集。刺身や切り身、柵、まるごと使える手間いらずの魚を使った、和・洋・中華、エスニックのレシピを収録。魚料理の幅を広げられる一冊。

699. 3 「伝えるための準備学」

古舘 伊知郎 著
数々の名フレーズを生み出してきた古舘伊知郎。その言葉や名場面の瞬間は、徹底した準備によって生まれていた！効率的ではなく時間短縮にもならず、無駄をよしとする準備のスキルと心構えを、経験談を交えて伝授する。

772. 1 「きれいに生きましょうね」

草笛 光子 著
とっておきの健康法、自然体の着こなし術、スターたちとの交遊録、女優人生70年の歩み…90歳で映画の主演を務めた草笛光子が、老いてゆく日々思うこと、感じることを綴る。『週刊文春』連載に加筆修正。



786. 1 「ドキュメント生還2」

羽根田 治 著
重傷を負いながら13日間、道を間違えて8日間。遭難して生還した登山者たちは、何を考え、どうやって生き延びたのか。長期遭難したサバイバー4人の肉声から探る。『山と溪谷』掲載に書き下ろしを加えて書籍化。

901. 0 「スマホ片手に文学入門」

小池 陽慈 著
スマホ片手に検索を駆使しながら本を読もう！短編作品3作を丸ごと掲載し、情景描写の用語から謎展開の解釈まで細かいポイントで立ち止まっては検索。必要に応じて文学理論なども解説しながら、解釈の楽しみ方を伝える。



児童資料

「なんのサンドイッチ？」 たなか ひかる 著
2枚重ねてあるパン。上のパンから、白いものが2本ずついくつも飛び出して、カリカリコリコリという音がするよ。これなんのサンドイッチ？サンドイッチの中には意外なものが挟まっ
ていて…。めくる度に驚きが溢れる絵本。

「トガリネズミひみつのくらし」六田 晴洋 著
北海道に棲む珍獣、トガリネズミの謎に満ちた暮らしに迫る写真絵本。世界最小級の哺乳類の食事、隠れ家、子育てなどこれまで知られていなかった驚きの生態を紹介。赤ちゃんの貴重写真も収録。動画が見られるQRコード付き。

「6 days 遭難者たち」 安田 夏菜 著
女子高生3人は各々の理由から、共に山に登り始める。日帰りできる「ゆる登山」のつもりだったが、下山の計画を変更したことで道を見失い…。生と死の狭間で、3人がつかんだものは？「遭難を防ぐための五か条」も掲載。

「たるばとクラブ」

たるばとクラブは、おはなし会や工作、アニメの上映など、図書館に来るのがもっと楽しくなる時間です。

【日 時】 いずれも土曜日 午後2時～3時

①11月2日 ②11月16日

③12月7日 ④12月21日

【場 所】 ①③図書館1階 児童室えほんコーナー

②④図書館2階 視聴覚室

【対 象】 どなたでも【申込み】不要

【内 容】 ①③「たるBOOKのかみしばい」

「たるBOOK」の皆さんによる紙芝居と工作を行います。協力：たるBOOKの皆さん

②「秋のおはなし会」

秋をテーマにしたおはなし会と工作など。

④「たるばとクリスマス」

クリスマスにちなんだおはなし会や工作など。



「乳幼児向けおはなし会 たるぴよ74ム」

絵本の読み聞かせや手遊びなどのおはなし会です。

【日 時】 いずれも金曜日 午前11時～11時半

11月1日、8日、15日、22日

12月6日、13日、20日

【場 所】 図書館1階 児童室えほんコーナー

【対 象】 乳幼児とその保護者【申込み】不要

「ぐうちよきばあのおはなし会」

「おたる子ども劇場ぐうちよきばあ」の皆さんによる絵本の読み聞かせや紙芝居などの楽しいおはなし会です。

【日 時】 12月11日(水) 午後3時半～4時

【場 所】 図書館1階 児童室えほんコーナー

【対 象】 どなたでも【申込み】不要

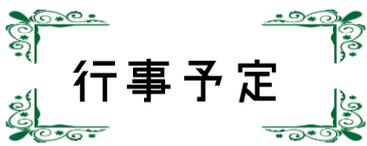
※11月13日(水)のおはなし会は中止となります。

郷土

第10回「小樽まちかど再発見」：9月21日(土)開催

講師に山川隆氏(小樽観光ガイドクラブ顧問)をお迎えし開催してきた「小樽まちかど再発見」は今回で10回目となった。第1回目は2014(平成26)年、スタート地点は旧手宮線跡地(文学館・美術館横)でゴールは運河プラザ。運河周辺を散策するコースだった。9回目の散策終了後「まだまだ話したいことがある。10回は開催したい。原点回帰の回にしたい。」という山川氏の要望により、1回目と同じ地点からの出発。ゴールは新施設の小樽国際インフォメーションセンターとなった。当日は肌寒い気温だったが青天にめぐまれ、絶好の散策日和。半袖姿で自作パネルを活用しながら解説に熱が入る山川氏だった。解散後の帰り道でも解説は続いた。





行事予定

11月

12月

催し

おたる図書館シネマ座（映画鑑賞）

「美女と野獣」

11月10日（日）午後1時半～午後3時

図書館2階 視聴覚室

1946年フランス制作。ジャン・コクトー監督。ジャン・マレー出演。

これこそヨーロッパ。これこそ映画美…。ルブラン・ポーモン夫人の童話を、ジャン・コクトーが愛の力を描く華麗で幻想的な物語に仕上げさせた。野獣（じつは王子）と美女ベルの恋人の二役をジャン・マレーが演じる。（白黒・字幕）

「蟹工船」

12月15日（日）午後1時半～午後3時半

図書館2階 視聴覚室

1953年日本制作。山村 聡監督。森 雅之出演。地獄船ともいわれた戦前の蟹工船では、消耗品扱いの過酷で非人間的な労働が強いられていた。不法、暴力と脅しに耐えかね、労働者たちはついに立ち上がる。だが待っていたのは、国家による徹底的な圧殺だった。第8回毎日映画コンクール撮影賞。（白黒）

ミュージックプロムナード（音楽鑑賞）

【日 時】11月24日（日）午後1時半～2時半

【内 容】「アンティーク・オルゴールの調べ」 シリンダー型やディスク型など、古いオルゴールが奏でる、心に響く音色をお楽しみください。

【対 象】どなたでも

【場 所】図書館2階 視聴覚室



展示

「図書館で学ぶ・交通安全」

【日 時】11月13日（水）～11月22日（金）

【内 容】凍結路面でのスリップ事故、日没後の交通事故が増加するこの季節。冬の交通安全運動を推進するため、交通に関する図書を展示・貸出し

【場 所】図書館1階 カウンター前

【協 力】小樽市生活環境部 生活安全課

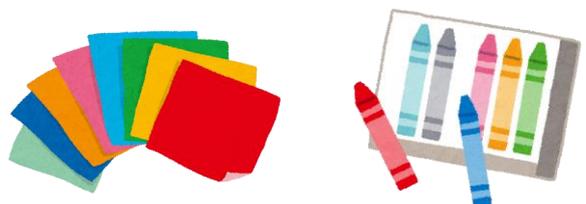


えがしらみちこ絵本パネル展 「いまのきもちはどんないろ？」

【日 時】10月26日（土）～11月28日（木）

【内 容】絵本パネル（複製）、関連資料を展示するほか、「いまのきもちはどんないろ？」参加型コーナーを設置

【場 所】図書館1階 児童室・エントランス



読書週間とは

公益社団法人読書推進運動協議会ホームページによると、1947（昭和22）年、「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと、出版社・取次会社・書店・公共図書館・マスコミ機関等で開催を決定。11月17日から第1回読書週間が開催されました。その反響は素晴らしく、翌年の第2回からは、文化の日を中心にした2週間、10月27日から11月9日と定められ、後に『読書週間』が始まる10月27日が、「文字・活字文化の日」に制定されました。

「人形劇の会」

【日 時】11月3日（祝・日）午後2時～3時

【内

延期

【対 象】どなたでも

【場 所】図書館2階 視聴覚室